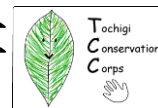


NPO法人トチギ環境未来基地主催

# 親子キャンプ in 芳賀の森 報告書



平成 24 年 8 月 21 日（火）～24 日（金）

8 月 21 日（火）～24 日（金）、栃木県に避難されている家族を対象に、『親子キャンプ in 芳賀の森』を実施しました。

東日本大震災から一年半が経ち、まだ今も慣れない環境や不安定な状況の中で生活されている方が多くいらっしゃる中で、子どもたちは思いっきり外で遊び、大人の方も自然の中でリフレッシュしていただく機会をと思い、親子キャンプを実施しました。

日程 : 8 月 21 日～24 日（3 泊 4 日 夏休みプログラム）  
参加者 : 8 名（県内避難者の方）大人 4 名、子ども 4 名  
活動場所 : 芳賀青年の家（益子町）  
益子焼窯元共販センター（益子町）  
なごみの里「かぐや姫」竹原（茂木町）  
大瀬川の駅（茂木町）  
ツインリンクもてぎ（茂木町）  
明在庵（益子町）  
  
主催 : NPO 法人トチギ環境未来基地

この活動は平成 24 年度日韓共同募金会 東日本大震災救援プロジェクト  
栃木県内被災者支援活動助成事業の助成を受け、実施しました。

## 1日目 8月21日(火)

時間	内容
13:00	宇都宮駅集合
14:00	芳賀青年の家集合
14:00~14:30	オリエンテーション
14:30~15:30	散歩(西明寺見学)
15:30~19:00	夕食作り
19:00	夕食
20:00	入浴
21:00~	花火・フリータイム
22:00	就寝



### キャンプの様子(1日目)

参加者のみなさんが集まった後、青年の家の方から少しオリエンテーションがあり、その後西明寺へ散歩に出かけました。西明寺への道は上り坂で、子どもたちには少し大変だったかもしれませんが、みなさん汗をかきながら楽しく散歩していました。虫とりあみが大人気でした。

子ども達は初めて会ったにもかかわらず、すぐに仲良くなり一緒に遊んでいました。

夕食作りは、小さい子どもたちにとっては少し難しいかなというところでしたが、お母さんたちが料理する傍ら、子どもたちで遊びを見つけ出し楽しそうにしていました。何も遊び道具がなくても、森にあるものや地面に落ちているもので、子どもたちは何だって遊びにってしまう、やっぱりそれが、本当の遊びだなあと感じました。

全体として空き時間が少なかったのですが、プログラムとプログラムの間に余裕があればもっとゆっくりリラックスしてできたのかなと思いました。

## 2日目 8月22日(水)

時間	内容
6:00	起床
7:30	朝食
8:30～	茂木の滝へ移動
9:00～11:00	川遊びと木工
12:00～	道の駅へ移動、昼食
13:00～16:00	ツインリンク茂木へ ASIMO 見学、ハローウッズ散策
16:00～16:30	明在庵へ移動
17:00～18:00	夕食作り
18:00～19:00	夕食 餃子大会
19:00～	芳賀青年の家に移動
22:00	入浴 就寝



### キャンプの様子（2日目）

午前中は、トチギ環境未来基地が整備活動を進めている、茂木町の竹原地区にある、竹林と滝にいきました。この日も暑かったので、滝につくなり、子どもたちも大人も水に入り楽しみました。

川岸でリユールシロフォンという、コロコロなる木琴のような楽器をみんなで作りました。それぞれ素敵な絵を楽器に書いて完成しました。

午後はツインリンク茂木にいきました。ASIMO を見て、その動きのかわいさに子どもたちも喜んでいました。そして、ツインリンク内にあるハローウッズという自然体験ゾーンで、オリエンテーションに参加しました。

割と距離があったので歩くのは大変でしたが、チェックポイントを見事すべて見つけ、課題をクリアし、スタンプをすべて獲得できました。

家族だけでも楽しめるようなスケジュールでしたが、新しい仲間、お友達と遊ぶととっても楽しいと感じる一日でした。

### 3日目 8月23日(木)

時間	内容
6:00	起床
7:30	朝食
8:30～	那珂川へ移動
9:00～12:00	川遊び
12:00～	昼食
13:00～15:00	陶芸・絵付け体験
15:00～	青年の家へ移動・休憩
16:30～18:00	夕食作り
18:00～19:00	夕食 BBQ
19:00～20:00	キャンプファイヤー
20:00～	入浴
22:00	就寝



### キャンプの様子（3日目）

3日目は子どもたちみんなが楽しみにしていた川遊びへ。朝からドキドキワクワク、川に着くと早速水着になり川の中へ。水鉄砲でかけあいっこをしたり、浮輪でプカプカ泳いだり、小さな魚を網でとったり、あっという間に時間が経ちました。「気持ちがいい♪」「もっと遊んでいたい！」とお母さんもお父さんもみんな一緒になって楽しみました。お昼ごはんは那珂川でのあゆを食べて休憩。初めてみたあゆ漁のやなも興味津々でした。

午後は益子町へ戻り、陶芸体験へ。自分に、お父さんに…など思いをこめて作品をつくりました。どの作品も味がある作品が完成しました。作品もつくり、満足したみんなを待っていたのは、“益子原住民”（\*1）のジャンボ酋長。ジャンボ酋長とゴリラ隊長（\*2）の指示の下、バーベキューの準備とキャンプファイヤーの準備が行われました。衣装をまとった酋長たちに最初は子どもたちもびっくり！緊張していましたが、だんだん慣れてきて、火のつけ方や音楽を教わりました。子どもたちも“益子原住民”になり、火や生きるもの、命に感謝しながらキャンプファイヤーがはじまりました。ズンズンドコドコ、きっと益子町で一番賑やかな夜を過ごしたことでしょう。

\*1～2 キャンプファイヤーのときの役の名前です。

## 4日目 8月24日（金）

時間	内容
6:00	起床
7:30	朝食
8:30~9:30	荷物のまとめ、青年の家退所
10:00~12:00	流しそうめんの準備と、工作
12:00~	流しそうめん大会
13:00	振り返り、解散



### キャンプの様子（4日目）

いよいよキャンプ最終日。お世話になった芳賀青年の家を後にし、再び明在庵へ向かいました。今日のお昼は、流しそうめん。先日切り出してきた竹をつかって流しそうめん台を作る準備と、子どもたちは木をつかってロボットを作ったりと思いおもいの工作を楽しみました。

流しそうめんの台は参加者のお父さんが手際よくつくってくださり、長い立派な台が完成しました。お母さんたちはそうめんや薬味の準備をしてくれました。

流しそうめんがスタートすると、ワイワイ楽しくみんなで食べました。そうめんだけでなく、トマトやゼリーが流れてきたりと大興奮でした。

そしていよいよキャンプ終了の時を迎えました。振り返りでは一言づつ、キャンプの感想やほかの参加者の皆さんへのメッセージをお話いただきました。そして、サプライズで、子どもたちからお父さん、お母さんに、手作りの感謝のメダルを贈呈しました。

とても充実した4日間でした。再会を約束し解散しました。

全体を通して

夏休みプログラム 3泊4日ということで、参加者のみなさんは慣れない環境で4日間を過ごすということでしたが、参加して下さった方々や子どもたちは、この4日間をとっても楽しんでくださっていたように感じました。

プログラム全体としては、内容は少し盛りだくさんすぎたかなという面もありましたが、充実した時間を過ごせたという点では、良かったかなと思います。ただやはり、今回は4日間という長めの日程だったので、もう少し余裕のある時間配分や、休憩時間を取るなど、あまり詰めすぎない方が良かったようにも思いました。

参加者は3組で、それぞれ避難されている状況や場所の違いはありましたが、避難者同士の想いや共感する部分、情報交換など、みなさんの中でできていたようで良かったです。このキャンプが少しでも有意義な時間を過ごしていただけていたり、参加者同士をつなぐ役割を担うことができていたなら、良い活動ができたのではないかと思います。

---

親子キャンプ in 芳賀の森(8月) 報告書

編集/発行 トチギ環境未来基地 事務局

〒321-4104

栃木県芳賀郡益子町大沢 2584-1 明在庵内

電話/FAX 0285(81)5373

E-mail [tochigi@conservation-corps.jp](mailto:tochigi@conservation-corps.jp)

URL <http://conservation-corps.jp/tochigi/>